

## 【参考】

### ① グリーン水素

再生可能エネルギー由来の電力を利用して、水を電気分解して生成される水素です。東京都では、2050年にあらゆる分野におけるグリーン水素本格活用と2030年に向けた水素の需要拡大・社会実装化を目指しています。

#### グリーン水素 (再エネ由来水素)

再エネ由来の電力を利用して水を電気分解して生成される水素

#### ブルー水素

化石燃料を原料とするが、製造過程で発生するCO<sub>2</sub>を回収・貯留することで大気中にCO<sub>2</sub>を放出しない水素

#### グレー水素

天然ガスや石油などの化石燃料を原料として製造される水素

※東京水素ビジョン（令和4年3月25日公表）

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/energy/hydrogen/green/>

### ② 山梨県米倉山で再生可能エネルギー電力で製造されたグリーン水素

山梨県米倉山に設置した米倉山太陽光発電所の電力のうち、余剰の電力を利用して、Power to Gas (P2G) という電力からガスを作る新たな技術により、山梨県産グリーン水素を製造しています。県内外に供給することで水素エネルギー社会の構築に貢献することを目指しています。



国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

CO<sub>2</sub>フリーの水素社会構築を目指したP2Gシステム技術開発(2016-2022)

※山梨県・米倉山電力貯蔵技術研究サイト 全景 ©山梨県企業局

<https://www.pref.yamanashi.jp/newene-sys/>